



高橋 八重典 議員  
無党派

# 問 公共交通の現状と視察から

## 答 機能役割を整理し公共交通を構築



▲玉野市内を走るシーバス

**問** コミバスの近年の年間利用者数、事業費、最長乗車時間は。

**答** (危機管理課長) 平成30年度、約8万人、約9100万円、北部49分、南部96分、東部58分。

**問** 地域公共交通活性化協議会での見直しの方向性と進捗は。

**答** 無作為抽出によるアンケートとワークショップを開催する。

**問** 見直しから実証実験まで約2年強で行われた玉野市のスピード感に関しての感想は。

**答** スピード感を持って進めていく必要がある。

**問** 見直しから3年で新公共交通システム導入がされたことについての感想は。

**答** 民間の路線バスの運行、タクシ業者が5事業者あるなど条件がそろっていた。

**問** 視察で大きなポイントが2つあったと思うが。

**答** 巡回便から市内幹線型にし、交通空白地には乗合タクシーでカバーしたこと。

**問** 課題の類似があると思うがどうか。

**答** 類似している。

**問** 視察に同行した感想は。

**答** 利用方法など高齢者に周知している点は参考にされた。

**問** 公共交通の見直し現状と視察から学んだことを踏まえ以下問う。

見直しの方向性は。

**答** (危機管理課長) 地域交通講演会を開催し、ルートごとにワークショップを11月より順次開催予定。

**問** 地域公共交通活性化協議会だけではなく下部組織での意見交換の場を設置している。

**答** 下部組織までは考えていないが、意見収集や意見交換をしていく。また、出前講座などの活用も考えている。

**問** 見直しの具体的なスケジュールは。

**答** 地域公共交通活性化協議会において、利便性、効率的な運行方法を検討する。

**問** いつまでに実現するか明確な答えと総括を。

**答** (市長) 公共交通の利便性、効率的な運行方法を検討し、具体的なスケジュールを作成する。

新たな公共交通の早期実現を目指していく。

**問** きんちゃんバスの見直し実現はいつ?

**答** 早期実現を目指す

